

JCNews



冷暖自知
すべては体験から
二〇一九
Junior Chamber
International
NAGASAKI

TOP NEWS

理事長挨拶

《連載》カッコいいJAYCEEであるために vol.7

- 出前講座 事業報告
- 第67年度7月例会・臨時総会 事業報告
- 一般社団法人 長崎青年会議所
第68年度理事長予定者／副理事長・専務理事予定者
- 大学生によるNAGASAKIの観光まちづくり 第7回研修 事業報告
- サマーコンファレンス2019 事業報告
- 独立行政法人 国立病院機構長崎病院 夏イベント 事業報告
- みなとで大冒険！長崎賢者アドベンチャー！ 事業報告
- 一般社団法人 福江青年会議所
創立61周年 認承55周年記念式典・祝賀会 事業報告
- 仮入会員必修セミナー 事業報告
- 事業告知 平和の灯
- 「進め！ どんぱ de JJ」

発行／一般社団法人 長崎青年会議所

〈事務局〉 〒850-0874 長崎市魚の町3番21号（マリンハイツ長崎202号）
TEL 095-825-2709 FAX 095-822-5399
E-mail office@nagasaki-jc.jp http://nagasaki-jc.jp/

創立／昭和27年12月1日 承認／昭和28年2月7日
認証番号／36番 理事長／寺岡 誠三
会員数／111名
編集／一般社団法人 長崎青年会議所 広報委員会



Webサイトにアクセスできます

理事長挨拶

一般社団法人長崎青年会議所

第67年度理事長

寺岡 誠 三

1185(いい箱)作ろう鎌倉幕府?

8月は長崎にとつて、過去を振り返らなければならない重要な月です。8月9日は原子爆弾が長崎に投下された日です。長崎県内の小中学校の登校日にもなっている日であり、我々は小さい頃から原子爆弾による悲惨さを学んできています。8月9日、平和を祈りましょう。

更に、8月はお盆があります。我々は現在を生きています。現在という横軸にばかり眼を向けていないでしょうか。我々は過去、現在、未来に繋がる縦軸により生かされています。先祖がいなければ我々は今、存在していません。お盆の機会に是非ともお墓参りをし、先祖への思いを馳せる機会としましょう。

そして、8月という月を歴史を振り返る月にしてみてはいかがでしょうか。歴史はただ単に、過去の記録というだけではありません。現在の世界を考える上で、必要なものさしであり、未来を生きる我々にとつて最良の教科書となります。今の中学校や高等学校の歴史の教科書を読むと、我々が学んでいた頃とは内容が変化しているようです。年号の覚え方で有名な「1192(いい国)作ろう鎌倉幕府」も今では「1185(いい箱)作ろう鎌倉幕府」に変わり、足利尊氏像は騎馬武者像に変わり、有名な源頼朝像も別人の可能性が高くなり、教科書から消えてしまったそうです。それらの変化した経緯は是非とも自ら調べてみて下さい。歴史の研究は日々続けられており、新たな史料の発見などにより解釈が変わります。そして、現代の人間が歴史上の出来事を直接見たわけではありませんので、タイムマシンでも発明されない限り、歴史は史料から判断す

るしかありません。つまり、我々が学んだ歴史と今学ばれている歴史は異なっているということです。我々が学び、一生懸命覚えたことは何だったのかと思わずにはいられません。これから我々が学んだ歴史は内容が変化していくかもしれません。一方で、我々が常識だと考えていることも変化しているかもしれません。今はスマートフォンですぐに物事を調べることが出来る状態ですから、逆に誤った情報を正しい情報と勘違いしている可能性も否定できません。皆さんが日々お使いのパソコンもたまにアップデートされるはずですが、我々もアップデートをする必要があります。常に最新の情報を入手することは必要ですが、その情報元はどこなのかをしっかりと確認することも必要ではないかと考えます。単なる情報を鵜呑みにせず、一次情報を自ら調べ、頭を最新の状態にアップデートしましょう。

J A Y C E E
であるために

シャツ編 (下)

前回に引き続きドレスシャツについてです。前回、ドレスシャツは下着です。と申し上げました。であるならば、その下着であるドレスシャツの下に肌着を下着として着るべきなのでしょう。トランクスの下にブリーフを着ても、人はいないと思います。でも、上半身では下着(ドレスシャツ)の下に下着(肌着)を多くの方が着ているはず。この下着の下に下着を着るかどうかは、アパレル業界ではよく論争になります。私は着たい人は着ればいいし、着たくない人は着なければいいと思います。下着(肌着)を着る人は、下着(肌着)は目立たないほうがいいかと思えますので、ベージュの下着(肌着)を着ることをオススメします。なぜならば、ベージュの下着(肌着)だと白いシャツの下でも目立ちませんし、下着(肌着)のラインがでません。特にカットオフタイプのベージュの下着(肌着)がベストです。ファストファッションのブランドからもこのタイプの下着(肌着)が売られています。ベージュの下着(肌着)だけの姿は……ですが。

ドレスシャツの柄について、柄が一般的なのはストライプかと思えますので、ストライプに絞ります。ストライプは線が細いほうが遠目からは無地に見えるので、着こなしやすいです。しかし、各々好きな太さがあるかと思えますので、これだけは覚えておいて下さい。ストライプのストライプにストライプのドレスシャツを合わせる際は、ストライプの幅を同じ幅にしないということです。太いストライプのストライプのストライプのシャツを、細いストライプのストライプには太いストライプのシャツにして下さい。両方が太いストライプだと重たい印象に、逆に両方とも細いストライプの場合は柄同士が喧嘩してうるさく感じます。これは、チェックなどの別の柄の場合も当てはまります。

出前講座

青少年育成委員会 ◆ 川場もも子 君

去る7月5日(金)長崎市立土井首小学校におきまして、小学4年生を対象に出前講座を行いました。

今回は学校から、子ども達が2学期に訪れる出島・新地中華街・グラバー園について事前学習をしたいとの要望により、「長崎の魅力発見」というテーマのもと、その3つに関連する長崎の特別な歴史をお話しさせていただきました。

子ども達は合間に出題されるクイズや問いかけに積極的に答え、大変賑やかな出前講座となりました。

私達青少年育成委員会メンバーは、やや緊張していましたが、生徒の皆さんに助けられながら、ひとまず無事に講座を終えることができました。いくつか課題が残る第1回目となりましたが、今回の経験を活かして、更により良いものにするため、次回以降も委員会メンバー一丸となって取り組んでいきたいと思います。



第67年度7月例会・臨時総会

総務委員会 ◆ 日高 孝典 君



事業の詳細はこちらから

去る7月9日(火)に第67年度7月例会・臨時総会を開催致しました。総務委員会では、臨時総会の運営をさせていただきました。今回の7月臨時総会では、次年度(第68年度)の理事長に峰昇平君が信任され、次年度副理事長及び専務理事も承認されました。仮入会員として、今回の臨時総会が初めての経験で総務委員会の役割がどのようなものなのかを運営を通して知ることができました。個人の反省点としては、承認の挙手の際に挙げていただいた手をおろしていただく指示が遅く、皆様にご迷惑をおかけ致しました。8月の臨時総会も総務委員会メンバー全員で力を合わせ、一丸となってスムーズな運営ができるように頑張りたいと思います。



【取材後記】第67年度7月例会・臨時総会

7月例会・臨時総会の取材を終えて次年度がスタートしたと感じました。峰理事長予定者をはじめとする副理事長、専務理事予定者の皆様、御承認おめでとうございます。それぞれの決意が感じ取れる挨拶でした。JCは単年度制。毎年新しい風を吹き込むことを期待する総会でした。

(広報委員会/山口 潤)

「JCニュース8月号」に関するアンケートへのご協力をお願い

今後の充実した紙面作りのための簡単なアンケートにご協力下さい。QRコードを読み取っていただくことで回答できます。どうぞ宜しくお願い致します。

(アンケート有効期限:2019年9月10日)



一般社団法人 長崎青年会議所

第68年度理事長予定者



氏 名 ^{みね} 峰 ^{しょうへい} 昇平 君

生年月日 昭和 57 年 9 月 27 日
現 住 所 西彼杵郡長与町嬉里郷 272
現 職 峰調査測量(株) 専務取締役

〈JC 歴〉

2011 年入会 総務委員会
2012 年 平和交流委員会 運営幹事
九地区／九州の魂(こころ)確立会議
2013 年 広報委員会 拡大幹事
2014 年 総務委員会 委員長
2015 年 戦略室 室長
日本 JC ／主権国家確立委員会
2016 年 総務室 室長
日本 JC ／JC プログラム実践委員会
2017 年 拡大室担当 副理事長
2018 年 監事
日本 JC ／全国大会運営会議
2019 年 伝播室担当 副理事長
ブロック／社会基盤検討委員会

以 上

長崎 JC に入会してから本当に多くの機会をいただきました。なんとなーく断らず、NO といえない日本人の典型のような私でしたが、まさかまさか理事長という役職に挑戦できる機会までいただけたとは……自分なんかかと思いつつも大変光栄なことでありがたいことだと感じています。

決して自分一人がやってきたからではなく、憧れを持てる先輩、慕ってくれる後輩、先輩後輩関係なく刺激を与えてくれる同級生、この一つひとつの出会いがあったからこそ今の自分があるのだと思います。本当にありがとうございます。

第 68 年度は全員が利他の心を持って助け合い、全員で真剣に楽しみながら活動し、長崎 JC のファンを増やしていきましょう。やるときはとことんやって、楽しむときはとことんはじける！ やれることは全て出し切る気持ちで駆け抜けたいと思います。ご協力をどうぞ宜しくお願い致します!!

一般社団法人 長崎青年会議所

第68年度副理事長・専務理事予定者

Stay hungry, stay foolish



副理事長予定者

野田 剛士 君

次年度はとにかく楽しい、ワクワクする事業をやる！
JCは命懸けの遊び！真剣にやるから遊びは楽しい！
JCは失敗してもいい！！大ケガせんなら！
「ハングリーであれ。愚か者であれ。」by ジョブズ

ラストスパート!!



副理事長予定者

安中 忠司 君

総会でのご承認ありがとうございました。泣いても笑ってもJC生活最後の年となりました。そんな年に副理事長という職務を与えていただいたことに感謝し、1年間しっかり全うしていきます。

歯磨きと一緒にJCも習慣です。



副理事長予定者

田添 太一 君

7月総会ではご承認ありがとうございました。本年度もまだまだ勉強中。これまで学んだものに更なる経験の上乗せをして、第68年度の長崎JCを強く支えられるよう精進したいと思います。引き続き、宜しくお願い致します。

変わるチャンスを活かす



副理事長予定者

仲田 留奈 君

副理事長という職を受け、又、「女性初の」という言葉をいわれる度に、こそばゆくなります。私自身が成長することはもちろんのこと、組織が「何か変化したな」といわれるよう、峰理事長予定者のもと尽力したいと思っています。

感謝しかない！そりゃそうですよ！



専務理事予定者

手塚雄一郎 君

私は入会して様々な機会の中でメンバーや諸先輩の皆様、そして会社や家族と多くの方に支えていただいていた活動できました。その感謝の気持ちを持って、そして第68年度の峰理事長予定者を盛り立てていけるよう、最後まで精進したいと思います。

負のオーラはぶっ壊す



副理事長予定者

赤瀬 直樹 君

まずは総会において、ご承認いただきまして誠にありがとうございました。第68年度で副理事長という大役を仰せつかることになり、大変身が引き締まる想いでいっぱいです。峰理事長予定者を筆頭に、長崎JCを大いに盛り上げていきます！

大学生によるNAGASAKIの観光まちづくり 第7回研修

常務理事 ◆ 荒木 慶豊 君



事業の詳細はこちら

去る7月12日(金)、大学生によるNAGASAKIの観光まちづくりプロジェクトセミナーが開催されました。今回は資生堂の監査役宇野様にお越しいただき、おもてなしの心、人々の協働をテーマに資生堂の会社理念、世界的美容業界の変化や、中国をはじめとするアジアでの化粧品や関連商品の売り上げや顧客の変化についてセミナーを行っていただきました。化粧品というと女性のものというイメージですが、今からの時代、AIや気候の変化など様々な視点で研究されていく分野だと感じました。大学生の若い柔軟な発想で長崎の観光やまちづくりにコミットできるよう今後も取り組んでいきたいと思っています。(資生堂ツバキのシャンプーは五島のツバキ油を配合しています。みなさんも是非お試しください)



サマーコンファレンス2019

渉外交流委員会 ◆ 馬郡 啓 君



事業の詳細はこちら

去る7月20日(土)、21日(日)、横浜の地にてサマーコンファレンス2019が開催されました。当日は小雨が降る不安定な天候の中、長崎JCから総勢43名のメンバーに参加していただき、誠にありがとうございました。出向者の皆さんにおかれましては、準備段階から奮闘されていたと思いますが、疲れた表情一つせずに事業運営されていました。九州地区協議会が担当するファンクション「アイツ、JCやめるってよ。」では、メインホール満員御礼となり大盛況でした。又、国土強靱化委員会が担当するブース「防災体験! アンビリバボー」では、クイズや起震車の乗車体験をする長蛇の列ができており、こちらも大変な賑いを見せていました。出向者の皆様、本当にお疲れ様でした。

LOMナイトでは私の司会のもと、崎陽軒の美味しい料理とお酒を楽しみ、特製ジャンボシュウマイの登場や、昨年微かに記憶していた〇〇仮面の再登場がありました。そして、渉外のザイマン(漫才)もあり、会場のバイブスが上がりまくったと思います。参加して下さった皆様、出向者の皆様、本当にお疲れ様でした。



独立行政法人 国立病院機構長崎病院 夏イベント

事務局 次長 ◆ 川原 倫彦 君



事業の詳細はこちら

去る7月24日(水)と25日(木)、国立病院機構長崎病院にて夏イベントが開催されました。重症心身障児(者)の療育を行う長崎病院が毎年開催する各種行事に対し、長崎JCは1976年から40年以上に渡りお手伝いを続けています。

障害を抱えた方やその家族の方々に楽しんでいただくために病院スタッフの方々が趣向を凝らした夏イベントを企画されており、今年のテーマは「世界一周の旅」でした。御馴染みの綿菓子づくりやヨーヨー釣りをはじめ、オーロラ鑑賞やルーレットで決まった国の景色や人物と写真が撮れるチェキなどの様々なコーナーが準備されていました。参加されている方々は皆、全てのコーナーを回ろうと目を輝かせながら夏イベントを楽しんでいる様子でした。



みなとで大冒険！長崎賢者アドベンチャー！



事業の詳細はこちらから

青少年育成委員会 委員長 ◆ 福島はるか 君

「ふおっふおっふお。わしは長崎名物びわ仙人じゃ。」強烈で個性豊かなびわ仙人に迎えられてスタートした長崎賢者アドベンチャーは7月27日、28日両日ともに子ども達の満面の笑顔をもって無事に終了致しました。

初事業での不安をよそに、びわ仙人、道場の番人、4人の仲間に扮する皆様の熱く温かい名演技、高いコミュニケーション能力のお陰で子ども達だけでなく保護者の方からも楽しくクイズができたこと、長崎ゆかりの冒険アイテムがもらえたこと、色んな人と握手ができたこと、親子で郷土に触れる楽しい時間を過ごせたことなど、数多くの嬉しい声をいただくことができました。更に、子ども達は「長崎を好きになった」の回答100%！特に大徳寺の大クスやカステラ伝来の話は印象的だったようです。びわ仙人はこれを受け「長崎を愛する立派な長崎賢者の誕生じゃ。本当に嬉しいのう。熱い仲間に恵まれて幸せじゃった。ただ今度はもう少しいい素材で生まれ変わりたいのお。」といい残し4人の仲間とともに無事に成仏されました。

委員会メンバーをはじめご協力下さった皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



一般社団法人福江青年会議所 創立61周年 認承55周年記念式典・祝賀会

専務理事 ◆ 田添 太一 君

去る、7月27日(土)五島市観光ビルはたなかにおきまして、一般社団法人福江青年会議所創立61周年 認承55周年記念式典・祝賀会が開催されました。長崎JCからは寺岡理事長と私、又、長崎ブロック協議会役員として光富会長をはじめ、手塚運営専務、馬郡事務局長の5名で出席させていただきました。式典におきましては歴代の理事長紹介や当年度の有川真史理事長のご挨拶があり、「点滴穿石」～人と人の繋がり創造する豊かな地域～とスローガンを掲げられ、例え小さな水滴でも長い年月をかけることでいつかは厚い岩盤をも貫くことを意味していると話がありました。会員数が少なくとも地道な努力を重ねることで、必ずや地域に変革をもたらそうとする福江JCの気迫に私達も青年経済人として、又、青年会議所の一会員として再び気付きを得られる良い機会となりました。

長崎JCはスポンサーLOMとしての紹介を受け、寺岡理事長の挨拶の後、感謝状をいただきました。又、祝賀会終了後には長崎ブロックメンバー合同の懇親会が開催され、地域は違えども即座に打ち解け、気兼ねなく会話が弾む一体感の中で改めて「長崎人」としての仲間意識が更に高まっていることを感じました。

JCにはこのような機会がたくさんあります。会員の皆様にも是非ともLOMの垣根を超えた交流に触れていただきたいと思います。

LOM外の行事や、出向のことまで興味のある方は遠慮なく私までお申し付け下さい！サンキュー！！



事務局 次長
山口 泰君

来る8月8日(木)、平和公園内の平和の泉におきまして平和の灯が開催されます。この事業は毎年開催しております市民参加型の行事です。市民の方々が作成したキャンドルに平和の願いを込めたメッセージを書き入れ、灯籠をとすることで後世に平和の尊さを伝えることを目的としております。当日は、約4,000のキャンドルのライトアップや平和の泉を囲んでのコンサートなどが執り行われます。長崎JCとしては、この目的に賛同し毎年キャンドルの準備やコンサートの警備、キャンドルの撤去などの業務に携わっています。本事業に参加していただくことで、原爆被爆地長崎にしかできないことをもう一度、長崎市民の方々と一緒に考えていただきたいと存じます。どうぞご参加の程宜しくお願い致します。

仮入会員必修セミナー

拡大開発委員会 ◆ 宮崎 喜行 君



事業の詳細はこちらから

去る7月13日13時より建設会館にて仮入会員必修セミナーを開催致しました。VMVでは唐津JCの辻トレーナより、JCの発祥の地や、どんな時代背景でJCはできてきたか、JCIの目的やクリードの理解を通じて、JC運動の本質やJCの活動及び運動を理解していただきました。長崎JC紹介では理事長所信よりVisionを伝えていただき、各委員長の担いであるMissionを紹介しました。ワークショップでは、「長崎を初めて訪問する観光客に対し再度訪問する仕掛けを作ること。」に対し個人ワークで付箋にアイデアをしたためグループワークで各班の事業を模造紙に寄せました。青春の居酒屋では店主となる理事・役員よりJC活動についての相談や悩み等を歓談していただき交流を図っていただきました。



「進め！ でんぱ de J」

委員長の推しメン(メンバー)を
広報委員会が取材しました!!

例会委員会

松下 文学 君



取材・文

7月29日(月)

街にんじん堂薬局 オリーブ薬局にて
広報委員会 浦川 翔平

優しい笑顔に迎えられて大橋の電車通りにあるオリーブ薬局にやって参りました。出迎えてくれたのは「文さん」こと松下文学君と希少なサトちゃんやコロちゃんの人形。とても価値があるそうなので是非一度見に行ってみて下さい!! そんな松下君は病院勤務を経て(有)にんじん堂薬局に入社して早13年。そして同業の天本先輩のお誘いでJCに入会してから13年。薬剤師になったきっかけは、薬の研究をしてみたいという夢が中学生のころからあったそうです。

最近ではJCの中で同業の方々も多くなってきていることをとても嬉しく思っているようで、そんな方々に何か一言とお願いしたところ、「薬局業は薬剤師がいなくて仕事にならないので、自分がJCで抜けたりするときは、薬局を守ってくれている従業員の方々へ感謝をする気持ちが大切だと思います。又、無理をしないことも大切だと思います。」と謙虚ながらも仕事に対する厳しい姿勢とそれらを踏まえてJC活動に参加できる会社への感謝の気持ちが私にも伝わりました。

これまで一番強烈なJCの思い出は、委員長をしている年の全国大会が愛媛であったときのこと。LOMナイトは宿泊ホテルの会場でした。お殿がもめごとになってしまい、そのまま松下君と運営幹事のツインの部屋へ。そのまま部屋飲み開始。そのもめごとのうっぶん晴らしに部屋の前を通るJCメンバーを次から次に拉致し、ツインの部屋は満員状態。皆散々飲まれボロボロに。自分の部屋なのにまったく眠れなかった……と、ゾツとする「ちょっと昔のJC」のお話でした。最後に松下君より「13年間、JCにお世話になってきました。たくさん先輩、後輩に恵まれて勉強になり、又とても楽しかった記憶ばかりです。JCに打ち込めない時期もありましたが、そんなときも周りから支えていただきました。これまで続けられたのも皆様のおかげだと本当に感謝しております。あと少しのJC生活ですが、四元例会委員長はじめ、メンバーと楽しく過ごしていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いします。」とのことでした。

帰り際には「暑い中お疲れ様です」と経口補水ゼリーのプレゼントをいただきました!! お忙しい中ご対応ありがとうございました!!